

# **DIGプログラミング基礎最終報告**

～『発表者順ルーレット』～

2026.2.20  
TMC 南有里

# DIG受講きっかけと自己評価

## ■ DIG教育受講きっかけ

Web開発の基礎を身につけ、業務での効率化に繋げたい。

## ■ 受講前～終了までの学習推移

前半)

- ・何とか授業についていくことを優先。
- ・基礎項目を「理解する」ところまで精一杯。

中盤)

- ・他メンバーの学習方法を参考に、復習時間を計画実施。
- ・内容が複雑になり、理解できているか自信が持てない状態。

後半)

- ・授業についていくことで精一杯になり、挫折も考えた。
- ・チームペアリング学習で、メンバーからのアドバイスや、温かい対応に支えられ、どうにか最終日まで取り組む事ができた。

## ■ 自己評価 ■ 主な習得項目

### ① 基本文法

- ・変数・基本



- ・const / let の使い分けは理解できた。
- ・文法自体は読めるが、書く時に迷う場面あり。

### ② データ操作

- ・配列
- ・メソッド



- ・配列 (length / push) は実装で実際に使用。
- ・メソッドの役割を理解し、使える状態。

### ③ ロジック構築

- ・繰り返し
- ・条件分岐
- ・関数



- ・「入力 → 処理 → 出力」で考える習慣がついた。
- ・関数名や処理の組み立てに時間がかかる。

### ④ 概念理解

- ・クロージャー
- ・DOM/CSS



- ・概念としては理解できた、
- ・自分で一から書けるレベルには未到達。

コードの意味は理解できるが、実際に書くには時間がかかる。また、コードの説明力も課題。

# 最終目標：「会議の発表者順を決めるルーレット（JavaScript）」

## ◎想定機能（優先度順）

- ・候補（氏名）を入力 → 配列化（必須）
- ・ボタンでシャッフルして全員の順番を出す（必須）
- ・選出履歴 / 発表済み除外（拡張）
- ・視覚的アニメ：結果を上から順にフェードインで表示（拡張）

～イメージ図～



① 候補入力（カンマ区切り） → ② 回す（シャッフル実行） → ③ 結果一覧（上から順に表示）

（補足）将来的には発表済み除外や見た目のアニメを追加

# コード作成までの手順

## ① ポイント抽出

「候補から重複なく全員の順番を作る」

- 以下、小タスクに分解する
  - 1.配列を作る（候補を格納）
  - 2.残り候補からランダムに1つ選ぶ
  - 3.選んだ要素を配列から削除する
  - 4.これを繰り返す（forループ）

## ② 調査

各小タスクを日本語で検索 ■ 必要な関数をMDN/Googleで検索  
(検索ワード)

目的（コードの中で何をしているか）	確認する関数／式
一連の処理をまとめて再利用できるようにする	Function makeRandomOrder（自作）
配列 items からランダムに要素を選ぶ方法	Math.random()
ランダムな小数を整数の添え字にする方法	Math.floor()
0～items.length-1 のランダムインデックスの式	idx = Math.floor(Math.random() () * items.length)
選んだ要素を結果配列 order に追加する方法	order.push
選んだ要素を items から削除して重複を防ぐ方法	items.splice

## ③ 疑似コード織り込んだコード作成

```
const items = ["Aさん", "Bさん", "Cさん", "Dさん"];
//発表候補の名前を並べた「名簿」

function makeRandomOrder() {
//関数を呼び出すと、items 配列からランダムに名前を取り出し、order 配列に追加

  const order = []; // 結果を入れる箱（order）を用意する。

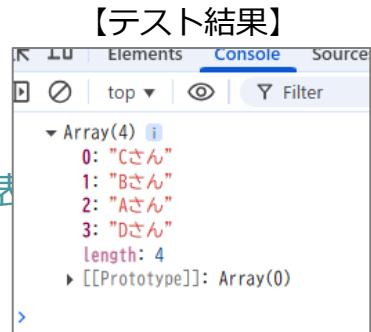
  while (items.length > 0) {
//items に残っている人数分：items 配列が空になるまでループ

    const idx = Math.floor(Math.random() * items.length);
//items の中からランダムに選んだ要素のインデックスを取得

    order.push(items[idx]);
//その位置にいる人の名前を取り出して、選んだ要素を order 配列に追加

    items.splice(idx, 1);
//選んだ要素を items 配列から削除
  }
  return order;
//全員分取り出したら、結果の箱（order）を返す／表
}

//テスト用
const result = makeRandomOrder();
console.log(result);
```



# 今後のスケジュール（マイルストーン）

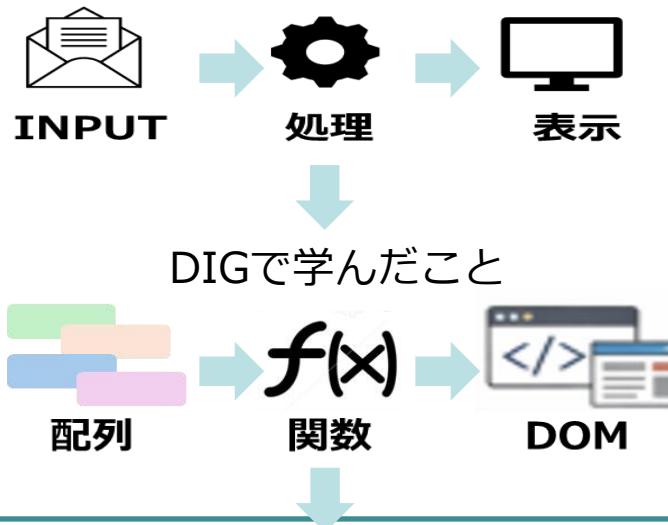
2月20日（最終報告後）～3月末

- ◎ DIG基礎の復習と演習問題を 1日1時間程度 繼続
- ◎ 最終目標  
「会議の発表者順を決めるルーレット（JavaScript）」を完成させる

4月以降

- ◎ DIGで学んだ JavaScript を自業務で使用することを目的に発展
- ◎ 業務に必要な内容を題材に、小さなツール・画面を作成していく

JavaScriptの考え方



業務でも情報整理・情報発信



## ■ 今後やりたいこと（業務へのつなげ方）

- ・ JavaScriptの考え方（入力→処理→表示）を業務改善に活かす。
- ・ 業務に関わる最新情報を、分かりやすく表示できる仕組みを学習・作成していく。